



▼ 3月の全国高等学校選抜ボート大会に出場する日隈さつきさん（芝原区）



全国優勝に向けて漕ぎ出せ

日隈さつきさん（芝原区・学付高1年）

3月20日（金）～22日（日）静岡県で開催される第26回全国高等学校選抜ボート大会の女子舵手付きクオドルプル部門に、学園大付属高チームの日隈さつきさん（芝原区・1年）が出場します。

舵手付きクオドルプルは、2つのオールを持った4人の漕手と舵手の合計5人で構成されるボート競技。昨年4月から同競技を始めた日隈さんは、すぐに頭角を現して出場メンバー入りしました。

同高は、昨年11月の九州地区予選大会で予選から準決勝までのすべてのレースを1位のタイムで通過し、決勝でも2,000秒のコースを7分59秒04で漕ぎ見事優勝。全国大会への切符を手に入れました。

日隈さんは「クオドルプルは、チームワークが大切なボート競技。全国大会では、先輩たちの足を引っ張らないようにして、ほかの学校に負けないようにがんばりたいです」と意気込みを語りました。日隈さんの今後の活躍が期待されます。

心をいやす美しい音色が響く

町生涯学習センターで「あったかコンサート」

2月8日（日）町生涯学習センターで、「あったかコンサート」が開催されました。

同コンサートは、町教育委員会と甲佐町文化協会（村上邦夫会長）が実施。生の芸術を楽しみに、家族連れなど約180人が集いました。

熊本市の月出小学校ブラスバンド部の「つきでB.B.キッズ」による「ムーンライトセレナーデ」などの演奏や、左座守さん（下田口区）の家族4人で美しいハーモニーを奏でる家族コーラス「左座家」による混声合唱が行われ、来場者は、心をいやす温かい音色に大きな拍手を送りました。



▲「七つの子」などを披露する家族コーラス「左座家」



◀ 久米次男さんの郷土への思いを聴く児童たち

郷土のすばらしさを学ぶ

乙女小学校で『熊本の心』公開授業

2月6日（金）乙女小学校（岡本秀夫校長113人）で、『熊本の心』公開授業が開催されました。

同小は、平成26年度道徳教育郷土資料『熊本の心』活用事業研究推進校に指定され、児童たちに郷土の素晴らしさを伝え、豊かな心を育成することを目的として授業などを実施。3年生（三嶋剛正教諭25人）では、「麻生原のキンモクセイ」を題材にして三嶋教諭が考案した教材『日本一のキンモクセイ』を使い、郷土に残るものの素晴らしさや受け継ぐ人々の思いを学び、地元に住む久米次男さん（麻生原区）のキンモクセイへの思いについて話を聴きました。

布の絵本を読んでみてね

「チクチク会」が町図書館に寄贈

町生涯学習センター図書館に、「チクチク会」（上田福子会長8人）から手作りの布の絵本6冊が寄贈されました。

同会は、布を使った絵本などを作成するボランティア団体。毎週月曜日に町いこいの家に集い作成に取り組んでいて、今回は昨年の春に続いて2回目の寄贈。

色彩かな布とボタンを利用した仕掛けなどの工夫が光る絵本は、3月2日（月）～9日（月）に同センター・ギャラリーモールに展示されます。展示期間終了後は、図書館で全14冊を自由に閲覧できます。



▲布の手触りが優しい絵本は赤ちゃんにもおすすめ



▲九州大会で見事2位に入賞した上益城チーム

上益城チームが九州大会2位

ママさんバレー大会に本町出身者が出場

1月23日（金）～24日（土）沖縄県で開催された平成26年度全国ママさんバレーボール九州ブロック大会に、県代表として上益城チームが出場しました。同チームのメンバーには本町出身の井芹洋子さん（山出区）、大村いづみさん（天町区）、佐野よし子さん（上豊内区）、高崎佐枝子さん（八丁区）、山本より子さん（上揚区）、古田久里子さん（天町区）の6人が入っており、昨年6月の県大会で2位に入賞。九州ブロック大会では、各県の精鋭が集まるトーナメントを勝ち進み、見事2位に入賞しました。出場した古田さんは、「ラリーが続く試合で、いい経験ができました」と話しました。

水泳で九州大会に出場

本町出身の小・中学生4選手が健闘



▲福岡市で開催された水泳の九州大会に出場した田上くん（写真左上）、宇都くん（同右上）、久米くん（同左下）、井芹さん（同右下）

2月7日（土）～8日（日）福岡市で開催された第35回九州カップ水泳競技大会に、本町出身の小・中学生4選手が出場し健闘しました。

本町からは、田上大翔くん（下横田区・甲佐中2年）、宇都優太くん（下横田区・龍野小4年）、久米愛大くん（麻生原区・乙女小6年）、井芹由依奈さん（糸田区・白旗小4年）が出場しました。

13～14歳の部の200・400㍓自由形で決勝進出した田上くんは、「次の大会では、最後まで全力で泳ぎ切る体力を付けて、もっと上を目指したい」と話しました。10歳以下の部50・100㍓自由形に出場した宇都くんは、「50㍓は自己ベストでうれしかった。もっと速くなるように、手を伸ばして泳ぐ練習をしたい」と話しました。

11～12歳の部50・100㍓自由形に出場した久米くんは、「すごく緊張した。次の大会は自己ベストを更新したい」と話しました。10歳以下の部の100㍓自由形に出場した井芹さんは、「自己ベストを出せて良かった。次の大会では、1位を取れるように練習をがんばりたい」と話しました。